

2017年度 桐朋学園大学大学院 音楽研究科 修士課程 入学試験

音楽史問題

注意事項

- ◇解答者は、開始の合図があるまでは問題を開かないこと。
- ◇終了時、解答用紙・問題用紙・下書き用紙の全てを回収する。

1. A群に挙げた15人の作曲家について、(1) もっともかかわりの深い作品名をB群から、
(2) もっともかかわりの深い概念をC群から、(3) もっともかかわりの深い時代と都市をD群
から選びなさい。

A群

- ①G.P.d.パレストリーナ ②F.リスト ③ペロティヌス (ペロタン) ④J.S.バッハ
⑤C.ドビュッシー ⑥G.リゲティ ⑦C.モンテヴェルディ ⑧W.A.モーツァルト
⑨A.シェーンベルク ⑩H.ベルリオーズ ⑪G.d.マショー ⑫R.ワーグナー ⑬G.デュファイ
⑭I.ストラヴィンスキー ⑮L.v.ベートーヴェン

B群

- (a) もしも私の顔が青いなら (b) マタイ受難曲 (c) 牧神の午後のための前奏曲 (d) アトモスフェール
(e) フィガロの結婚 (f) ノートルダム・ミサ (g) 幻想交響曲 (h) 月に憑かれたピエロ
(i) 地上のすべての国々は見た (j) 教皇マルチェルスのみサ曲 (k) オルフェーオ (l) レ・プレリュード
(m) はるかなる恋人に (n) プルチネッラ (o) ニーベルングの指環

C群

- (ア) 反宗教改革 (イ) オルガヌム (ウ) シュプレッヒ・シュティンメ (エ) オペラ・ブッフア
(オ) 交響詩 (カ) 第二の作法 (キ) 循環ミサ曲 (ク) アルス・ノヴァ (ケ) 象徴主義 (コ) 連作歌曲
(カ) 新古典主義 (シ) コラール (ス) トーン・クラスター (セ) 楽劇 (リ) 標題交響曲

D群

- (A) 1816年ウィーン (B) 1920年パリ (C) 14世紀ランス (D) 1786年ウィーン
(E) 1607年マントヴァ (F) 15世紀ブルゴーニュ (G) 1830年パリ (H) 1727年ライプツィヒ
(I) 1876年バイロイト (J) 1912年ベルリン (K) 1961年ドナウエッシンゲン
(L) 1894年パリ (M) 13世紀パリ (N) 1567年ローマ (O) 1854年ワイマール

2. 以下の7問より3つを選んで200字以内で答えなさい。

- ① バロック期から現代にいたる鍵盤楽器のための変奏曲の変遷について述べなさい。
- ② バロック期から現代にいたるオペラ・セリアの変遷について述べなさい。
- ③ バロック期から現代にいたる協奏曲の変遷について述べなさい。
- ④ 18世紀後半から19世紀半ば頃にいたる弦楽四重奏曲の変遷について述べなさい。
- ⑤ 19世紀におけるドイツ・リート的发展について述べなさい。
- ⑥ 20世紀以降に登場した、あたらしい奏法（あるいは唱法）を2つ挙げて説明しなさい。
- ⑦ 20世紀以降に登場した、あたらしい作曲技法を2つ挙げて説明しなさい。

3. 以下の4問より2つを選んで400字以上500字以内で答えなさい。

- ① 18世紀後半から19世紀前半にかけてヨーロッパの音楽家をめぐる社会的な状況は大きく変化したが、その変化について下記の用語を用いて述べなさい。[公開演奏会 楽譜出版 宮廷 オペラ劇場]
- ② バロック時代と呼ばれる16世紀末から18世紀前期の音楽は国民様式を特徴とした。イタリア、フランス、ドイツのそれぞれの音楽様式について、作曲家、作品、ジャンル、作曲様式などを具体的に挙げながら説明しなさい。
- ③ 17世紀から20世紀にかけてフランスで活躍した作曲家による任意の作品、そしてほぼ同時代にドイツ・オーストリアで活躍した作曲家による任意の作品を選び、それぞれの様式上の特徴を対比させて論じなさい。
- ④ 1870年から1920年までの時代は普仏戦争から第一次世界大戦終結までの時代に当たります。この時代におけるイタリア、フランス、ドイツ・オーストリアの音楽について、作曲家、作品、ジャンル、作曲様式などを具体的に挙げながら説明しなさい。

